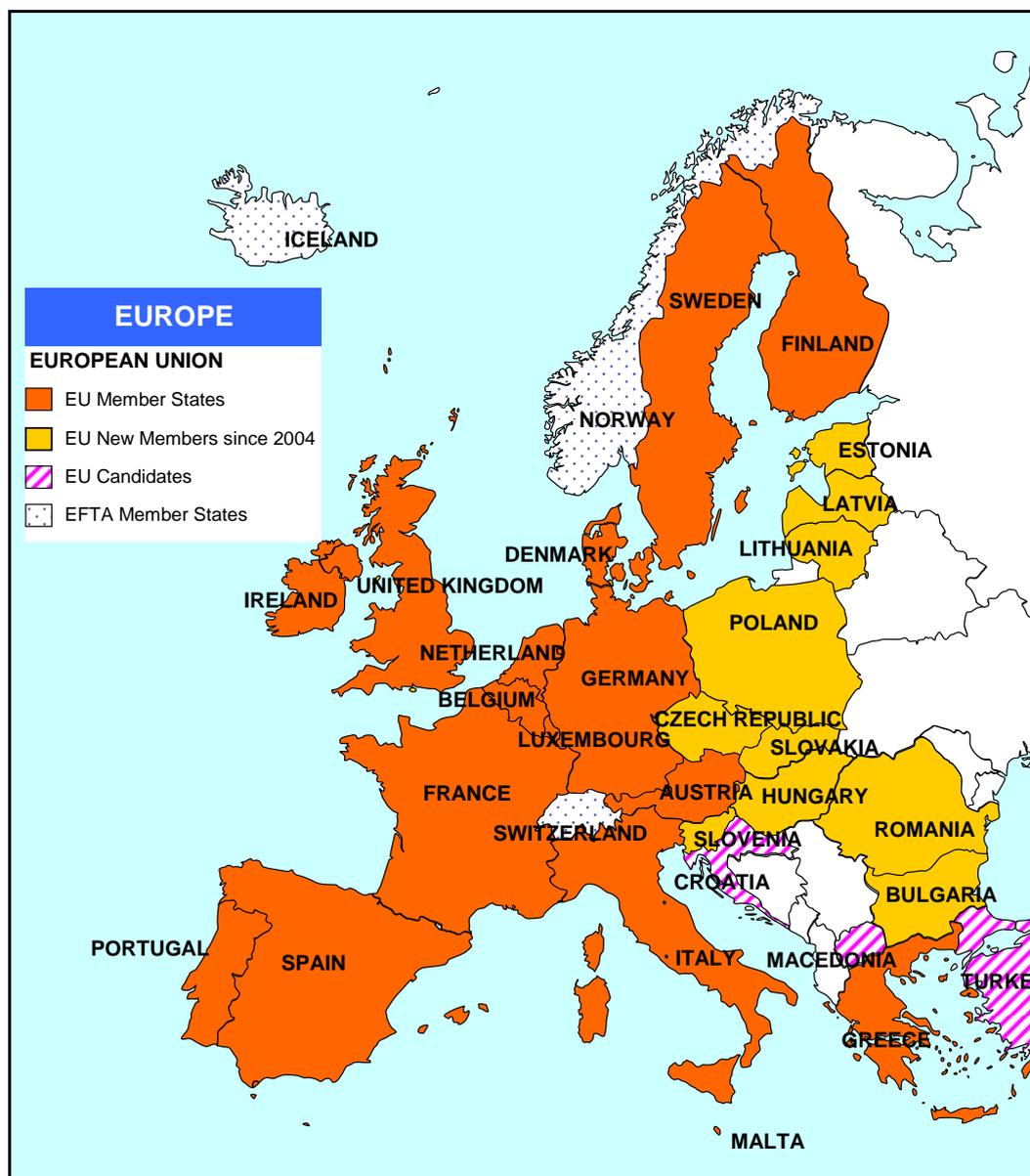


2013年3月22日 全13頁

欧州経済アップデート (2013.3)

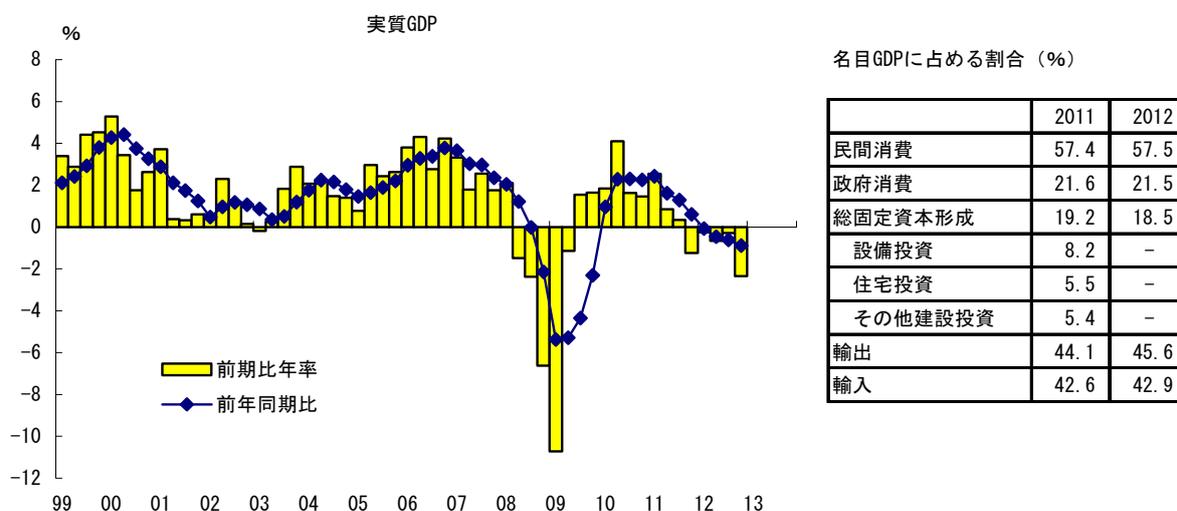
経済調査部 シニアエコノミスト 山崎 加津子
経済調査部 矢澤 朋子



出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

ユーロ圏 GDP

- 12年Q4のGDP成長率（2次推計）は前期比-0.6%、前年同期比-0.9%と速報から変更なし。12年通年では前年比-0.6%
- 個人消費は前期比-0.4%で、11年Q1以降、8四半期中7四半期がマイナス。総固定資本形成は同-1.1%で7四半期連続のマイナス
- 輸出は前期比-0.9%と09年Q2以来のマイナスに転じたが、輸入も同程度落ち込んだため、純輸出の前期比寄与度は-0.05%とわずかなマイナスに留まった



ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4
実質GDP	0.5	1.0	0.4	0.4	0.6	0.2	0.1	-0.3	-0.1	-0.2	-0.1	-0.6
個人消費	0.2	0.2	0.2	0.5	-0.1	-0.5	0.3	-0.7	-0.2	-0.5	-0.1	-0.4
政府消費	-0.4	0.1	0.3	-0.1	-0.2	0.0	-0.1	0.0	0.2	-0.1	-0.1	-0.1
総固定資本形成	-0.2	2.0	0.3	-0.6	1.9	-0.2	-0.3	-0.5	-1.4	-1.7	-0.8	-1.1
設備投資	1.8	2.9	1.6	1.2	1.4	0.6	0.2	-0.9	-1.8	-1.9	-1.4	-1.5
住宅投資	-0.1	2.0	-0.6	-1.9	2.7	-0.7	-0.5	-0.3	-0.1	-1.2	0.0	-1.1
その他建設投資	-3.2	0.6	-0.7	-1.9	1.8	-0.9	-1.0	-0.3	-2.3	-1.9	-0.6	-0.6
輸出	2.8	4.5	2.0	2.0	1.6	0.5	1.4	0.0	0.5	1.6	1.0	-0.9
輸入	3.4	4.0	1.4	1.7	1.3	0.1	0.5	-1.3	-0.4	0.6	0.1	-0.9

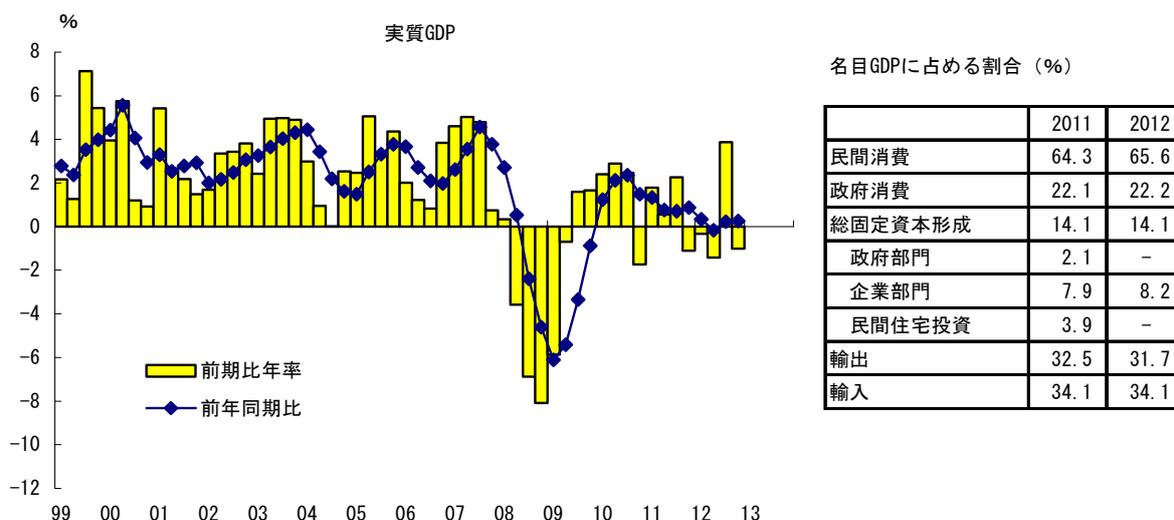
ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4
実質GDP	0.46	1.01	0.41	0.36	0.63	0.21	0.08	-0.31	-0.06	-0.17	-0.07	-0.59
個人消費	0.11	0.11	0.13	0.28	-0.03	-0.26	0.17	-0.39	-0.14	-0.26	-0.05	-0.22
政府消費	-0.08	0.03	0.06	-0.02	-0.04	0.00	-0.03	0.01	0.04	-0.03	-0.02	-0.02
総固定資本形成	-0.04	0.37	0.05	-0.11	0.35	-0.04	-0.07	-0.10	-0.27	-0.31	-0.14	-0.21
設備投資	0.15	0.24	0.13	0.10	0.12	0.05	0.01	-0.07	-0.15	-0.16	-0.12	-0.12
住宅投資	-0.00	0.11	-0.03	-0.10	0.14	-0.04	-0.02	-0.02	-0.01	-0.06	0.00	-0.06
その他建設投資	-0.17	0.03	-0.04	-0.10	0.09	-0.04	-0.05	-0.02	-0.11	-0.09	-0.03	-0.03
在庫変動	0.64	0.26	-0.10	0.06	0.20	0.30	-0.38	-0.35	-0.10	-0.04	-0.26	-0.10
輸出	1.08	1.81	0.82	0.85	0.71	0.24	0.59	0.01	0.23	0.72	0.45	-0.41
輸入	-1.27	-1.57	-0.56	-0.70	-0.54	-0.03	-0.19	0.52	0.17	-0.23	-0.05	0.36
純輸出	-0.19	0.25	0.27	0.15	0.17	0.21	0.40	0.53	0.39	0.49	0.41	-0.05

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

英国 GDP

- 12年Q4のGDP成長率（2次推計）は前期比-0.3%と速報と変わらず。12年通年では前年比+0.2%
- 個人消費はQ3と変わらず前期比+0.1%とかわらうじてプラスとなるが、引き続き弱い。企業部門の総固定資本形成は前期比-1.2%と3四半期ぶりにマイナスに転じた
- 輸出は前期比-1.5%と減少に転じ、輸入も同-1.2%と6四半期ぶりの減少に転じた。純輸出は-0.05%とわずかにマイナス寄与となった



英国の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4
実質GDP	0.6	0.7	0.6	-0.4	0.4	0.1	0.6	-0.3	-0.1	-0.4	1.0	-0.3
個人消費	-0.0	1.0	-0.1	0.3	-1.3	-0.1	-0.2	0.2	0.3	0.7	0.1	0.1
政府消費	-0.2	0.1	-0.7	-0.1	-0.0	0.4	0.1	-0.1	3.3	-1.6	0.5	0.6
総固定資本形成	5.1	-2.7	2.8	-1.7	-2.0	-0.4	0.3	-0.4	0.6	2.0	-0.6	-0.4
政府部門	12.5	-14.4	0.1	0.4	-16.6	-9.3	1.8	-8.3	11.7	-4.5	6.2	-
企業部門	8.0	-5.8	3.6	-0.5	-2.0	4.6	2.3	2.6	-0.6	1.7	0.5	-1.2
民間住宅投資	-1.8	12.4	3.2	-4.8	8.9	-5.7	-3.5	-2.8	-1.8	7.2	-6.9	-
輸出	-0.4	4.0	0.9	3.3	1.4	-1.9	-0.0	2.9	-1.5	-1.3	1.7	-1.5
輸入	2.0	2.9	2.1	1.5	-2.6	-0.2	0.1	1.6	0.0	1.3	0.3	-1.2

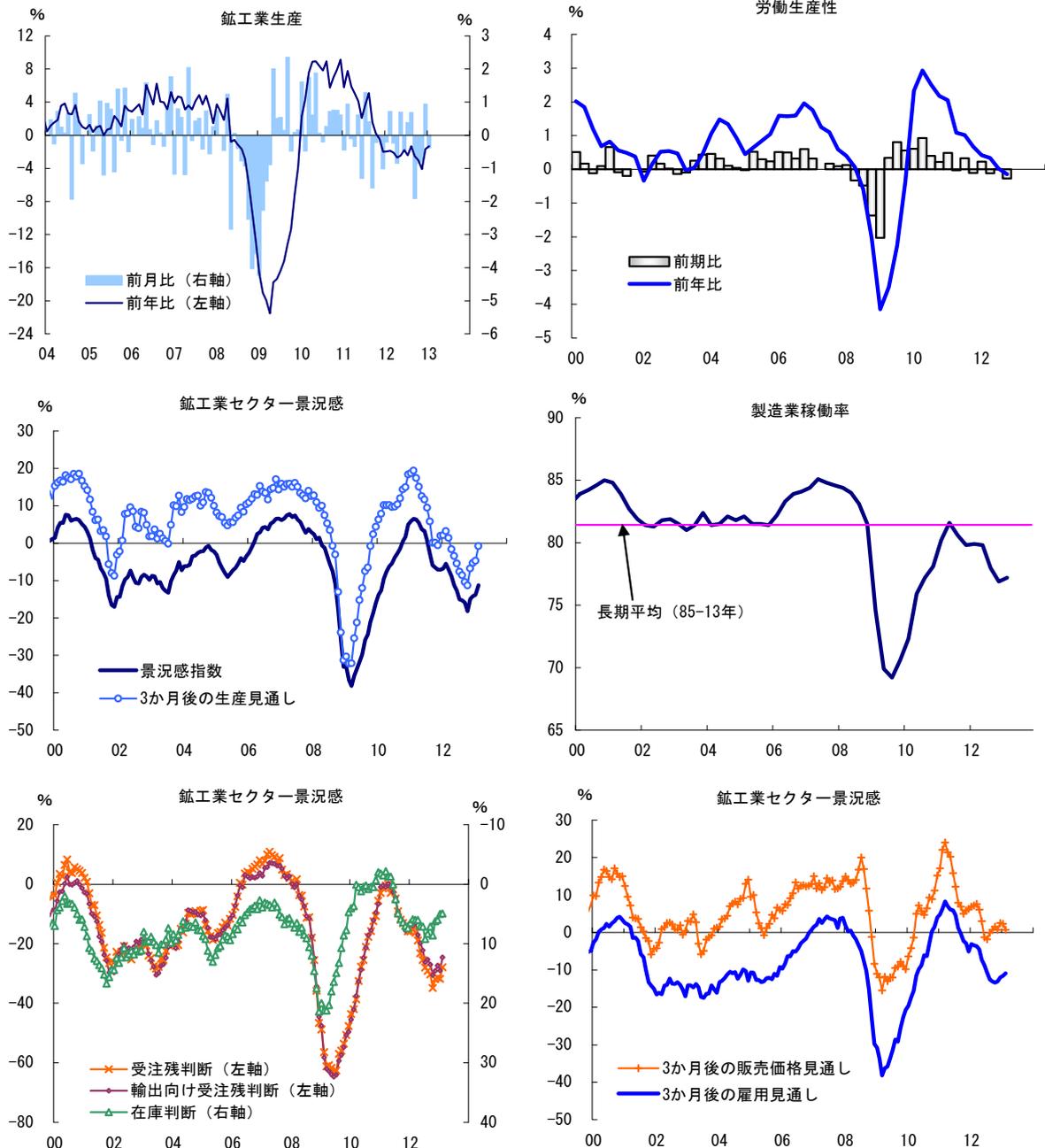
英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	10Q1	10Q2	10Q3	10Q4	11Q1	11Q2	11Q3	11Q4	12Q1	12Q2	12Q3	12Q4
実質GDP	0.59	0.71	0.61	-0.43	0.44	0.14	0.56	-0.28	-0.08	-0.36	0.95	-0.25
個人消費	-0.01	0.61	-0.09	0.19	-0.81	-0.05	-0.14	0.12	0.20	0.42	0.09	0.08
政府消費	-0.04	0.03	-0.17	-0.02	-0.00	0.08	0.03	-0.03	0.75	-0.37	0.13	0.15
総固定資本形成	0.76	-0.41	0.41	-0.26	-0.31	-0.06	0.04	-0.06	0.08	0.30	-0.08	-0.05
政府部門	0.34	-0.44	0.00	0.01	-0.44	-0.20	0.04	-0.17	0.21	-0.09	0.12	-
企業部門	0.62	-0.48	0.28	-0.04	-0.16	0.36	0.19	0.22	-0.05	0.15	0.04	-0.10
民間住宅投資	-0.07	0.47	0.14	-0.21	0.37	-0.26	-0.15	-0.12	-0.07	0.28	-0.29	-
在庫変動	0.32	0.23	0.84	-0.86	0.03	0.59	0.61	-0.68	-0.44	0.23	0.46	-0.38
輸出	-0.13	1.16	0.27	0.99	0.44	-0.60	-0.01	0.89	-0.46	-0.40	0.53	-0.45
輸入	-0.61	-0.90	-0.66	-0.49	0.85	0.06	-0.02	-0.51	-0.02	-0.41	-0.10	0.40
純輸出	-0.74	0.25	-0.39	0.50	1.29	-0.54	-0.03	0.38	-0.48	-0.82	0.43	-0.05

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 生産

- 1月の鉱工業生産は前年比-1.3%。前月比は-0.4%とマイナスに転じ、内訳を見るとエネルギーと資本財が前月比でマイナスに転落している
- 2月の鉱工業セクター景況感は4か月連続で前月比改善。3か月後の生産見通しが特に改善
- 11年Q4の労働生産性は09年Q4以来の前年割れとなり、低下傾向は継続

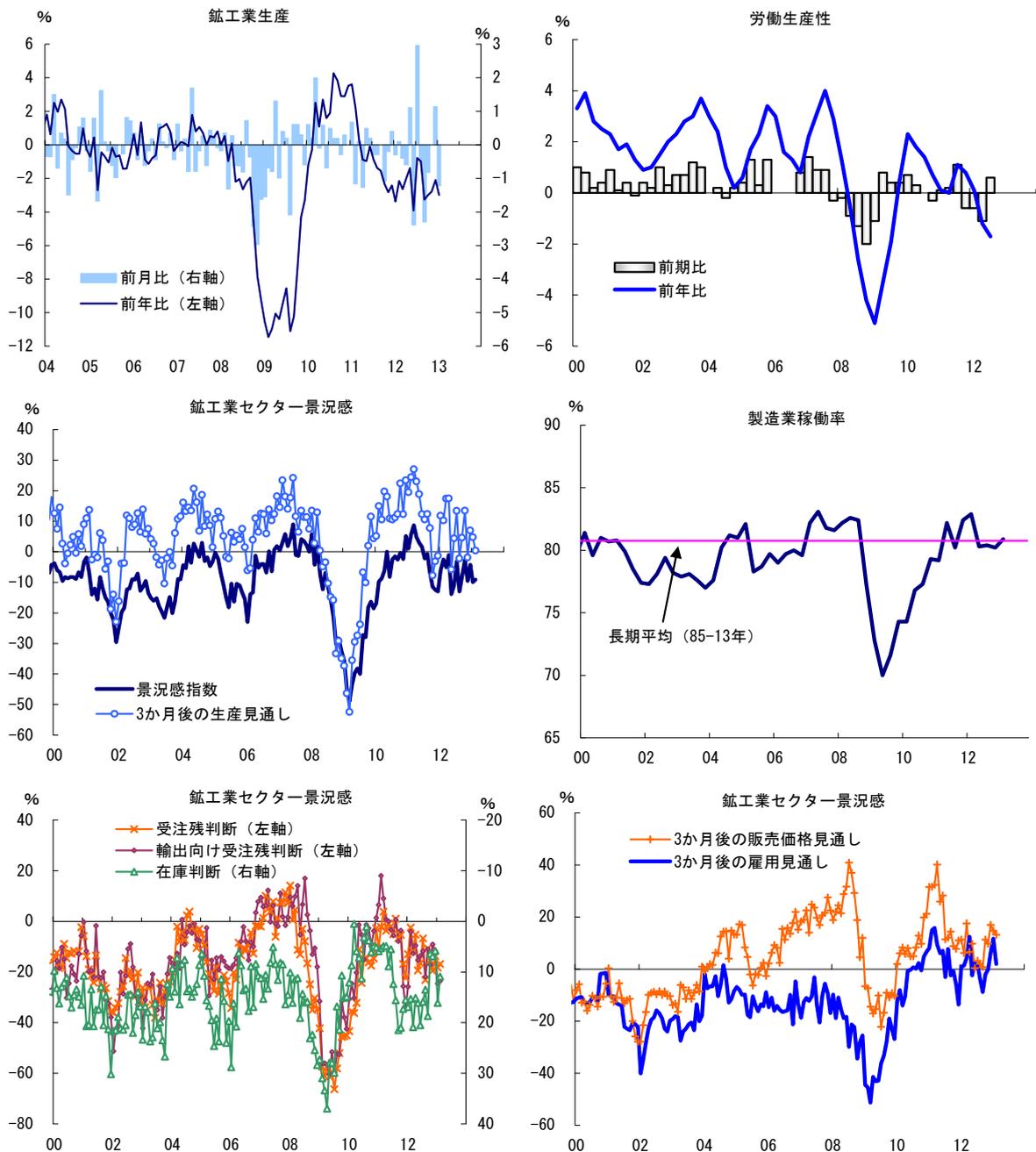


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

英国 生産

- 1月の鉱工業生産は前月比-1.2%とマイナスに転じた
- 主要因は、シェハリオン石油プラットフォームでの生産停止（新たに生産設備等を製造中）による石油ガス採取の減少
- 2月の鉱工業セクター景況感はボックス圏で推移。3か月後の生産見通しは2か月連続悪化

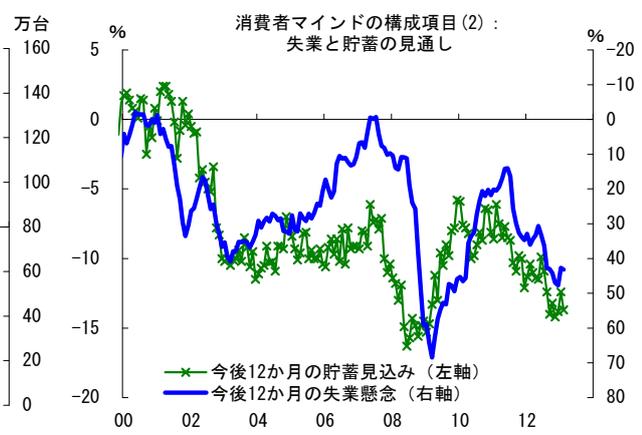
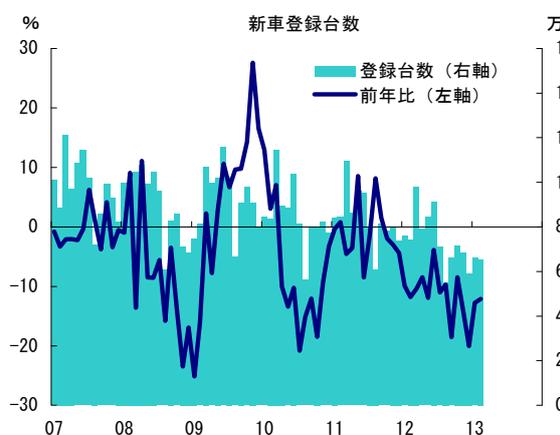
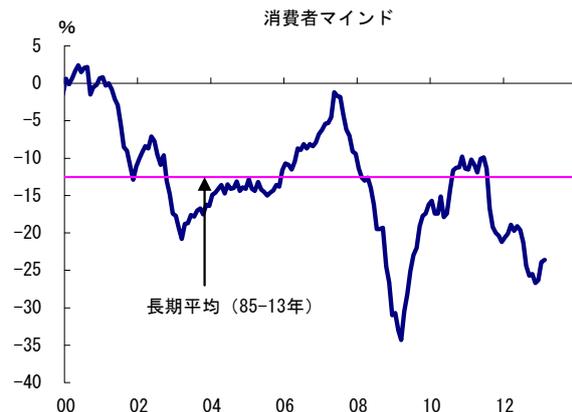
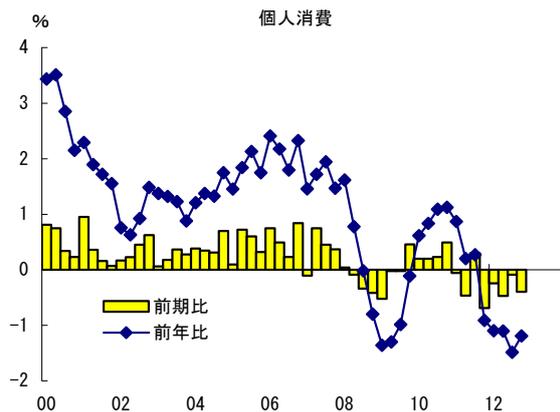


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会データより大和総研作成

ユーロ圏 消費

- Q4の個人消費は前期比-0.4%、前年比-1.2%。引き続き低迷
- 1月の小売売上高は前年比-1.3%と前年割れが続く。2月の新車登録台数は前年比-12.1%の65万4千台と相変わらず不振
- 消費者マインドの構成項目である今後12か月の景気見通しは、2月に大きく改善

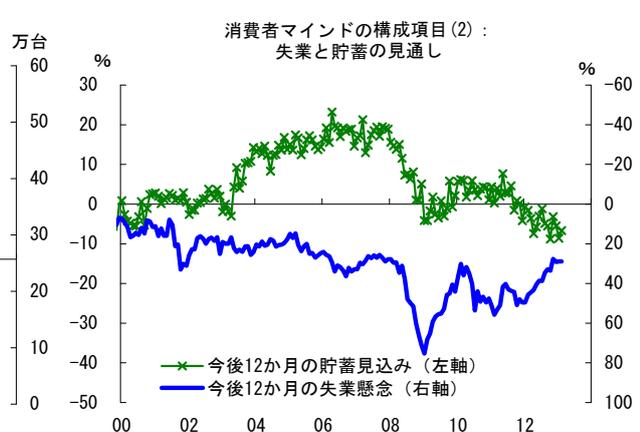
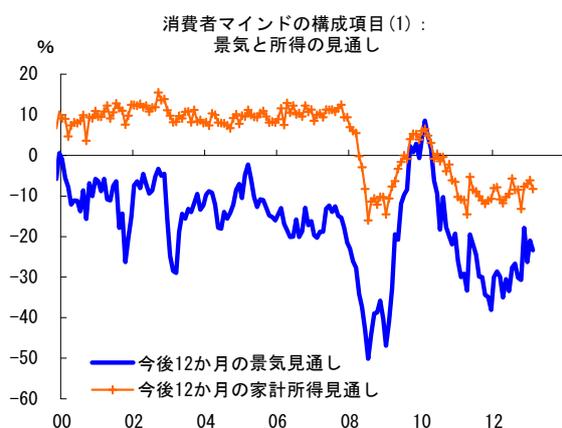
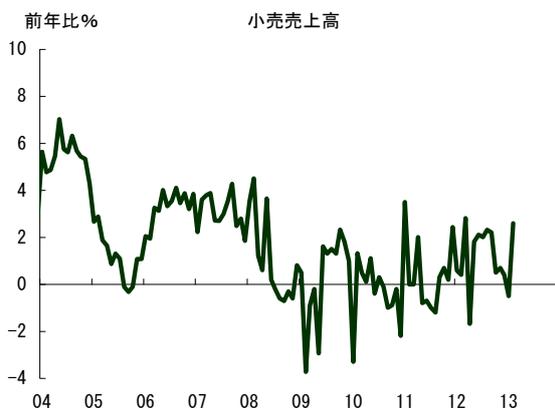
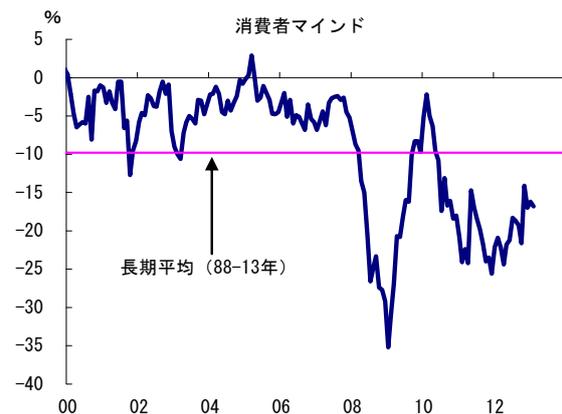


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

英国 消費

- 12年Q4の個人消費は前期比+0.1%、前年比+1.3%と低成長
- 2月の消費者マインドは前月比やや悪化。今後12か月の景気見通しや家計所得見通しも悪化した
- 2月の小売売上高は前年比+2.6%と大幅な増加に転じた。2月の新車登録台数は前年比+7.9%と健闘。台数も6万7千台と2月の水準としてはまずまず

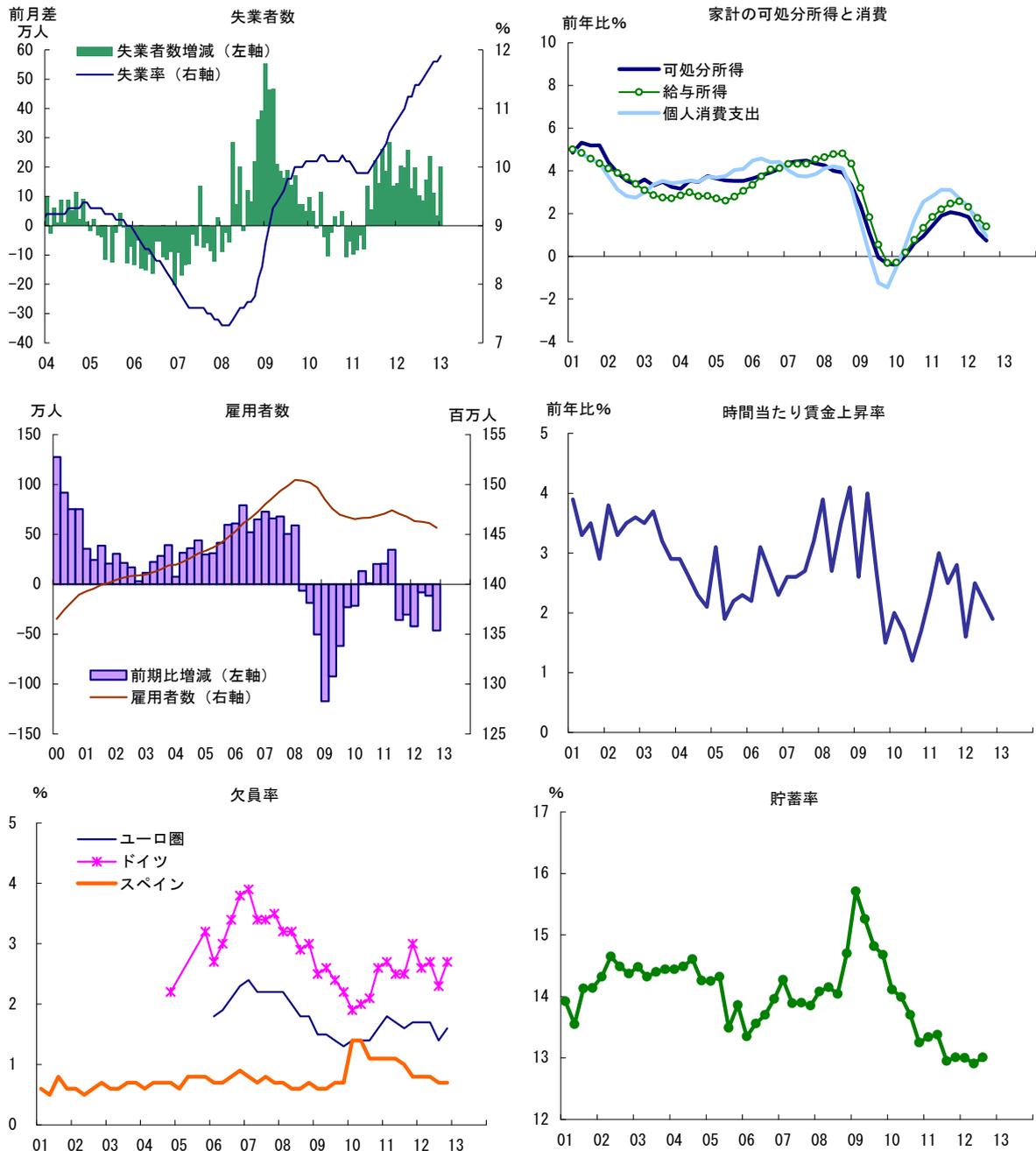


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

ユーロ圏 雇用・所得

- 1月の失業率は11.9%とユーロ導入以来の最高値を再び更新し、失業者は前月比20万1千人と大幅に増加。24歳以下の失業率も最高値(24.2%)を更新した
- Q4の雇用者数はQ3と比べて46万4千人の大幅減少。6四半期連続の前期比減少
- Q4の賃金上昇率は前年比+1.9%となり、2四半期連続で伸び率が鈍化

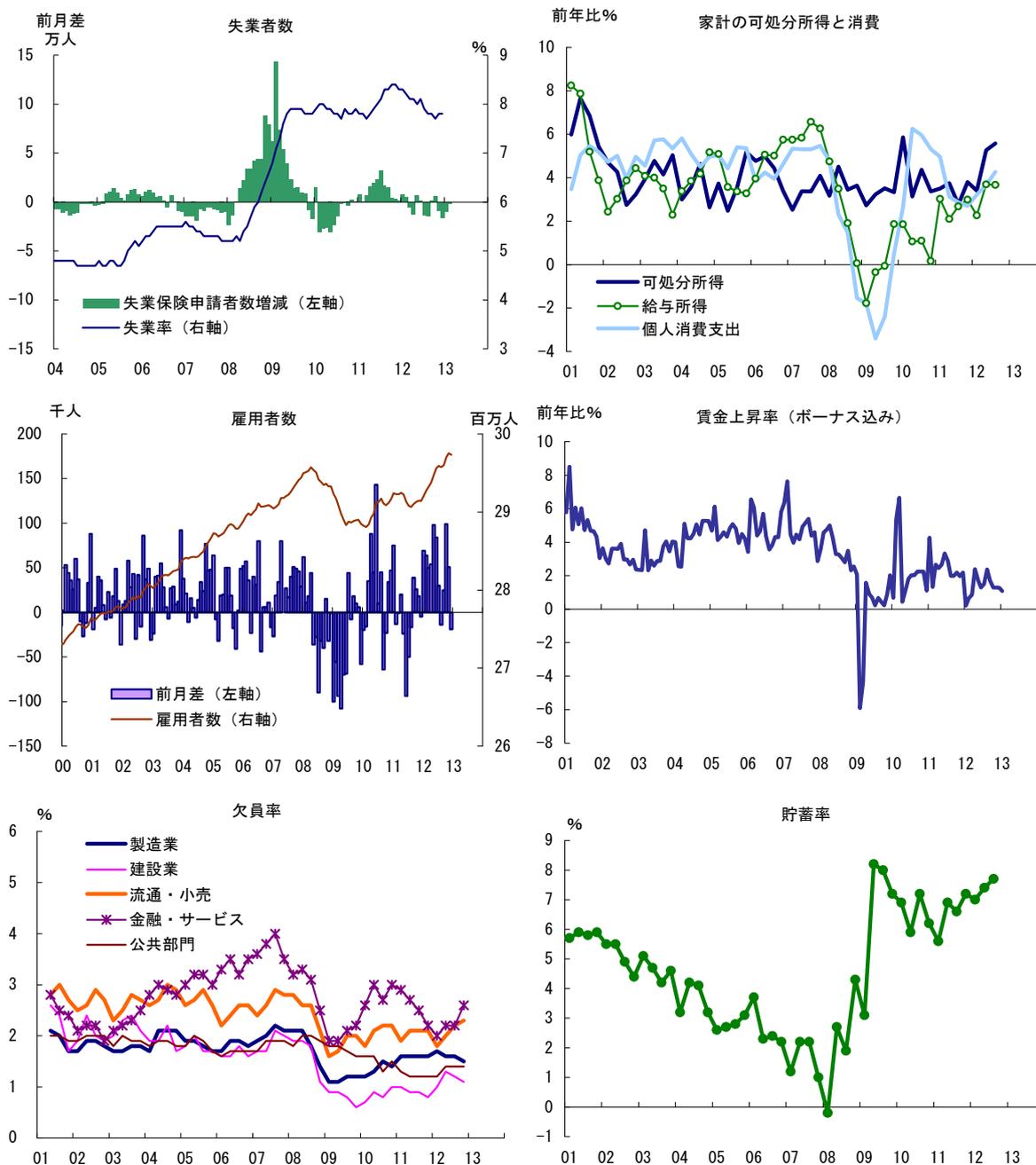


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = $\text{Number of job vacancies} / (\text{Number of occupied posts} + \text{Number of job vacancies}) \times 100$

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成

英国 雇用・所得

- 11-1月の雇用者数は10-12月比1万9千人減少したが、労働力人口も減少しているため、失業率は7.8%で変わらず
- 失業保険申請者は2月に前月比2千人減少となり、4か月連続で減少している
- 1月の賃金上昇率は前年比+1.0%と低い伸びが続く

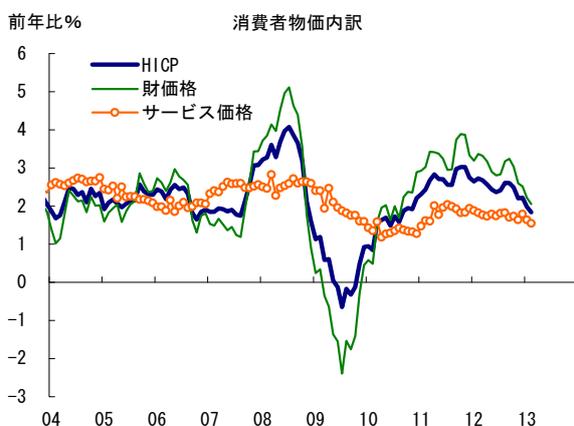
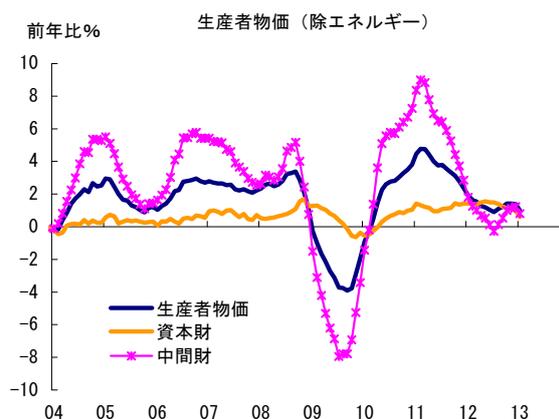


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = $\text{Number of job vacancies} / (\text{Number of occupied posts} + \text{Number of job vacancies}) \times 100$

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 物価

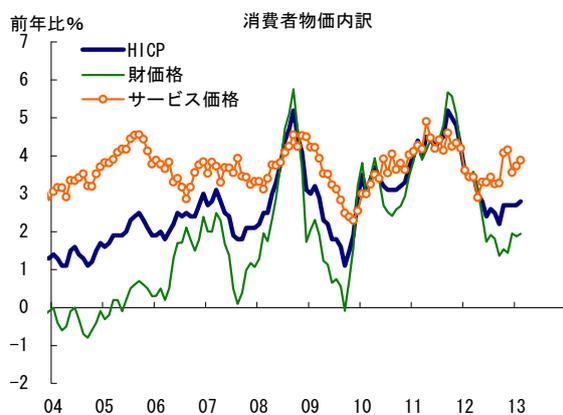
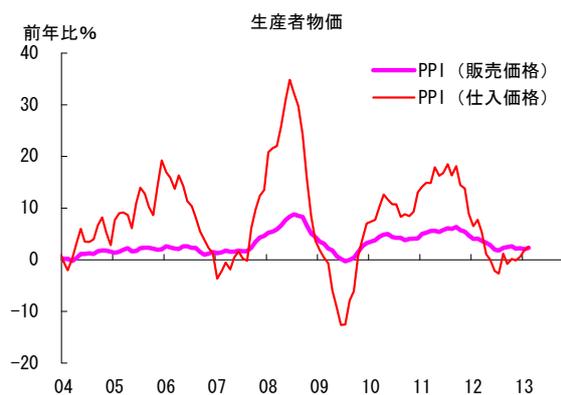
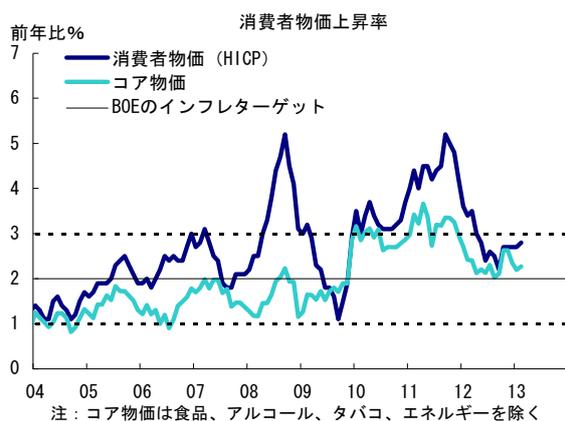
- 2月の消費者物価(HICP)上昇率は前年比+1.8%。10年11月以降、初めて欧州中央銀行(ECB)が目標としているインフレ水準(2%をやや下回る水準)に到達した
- 1月の生産者物価は前年比+1.0%。中間財および資本財ともに伸び率が縮小し、これまでの上昇傾向はストップ
- 1月の独輸入物価は前年比-0.8%と09年12月以来の前年割れを記録。2月のユーロの名目実効為替レートは前月比で上昇し、12年8月からの上昇傾向が継続



出所：Eurostat、ECB、ドイツ連銀データより大和総研作成

英国 物価

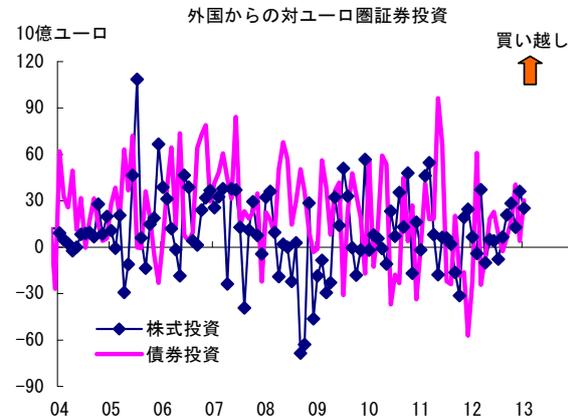
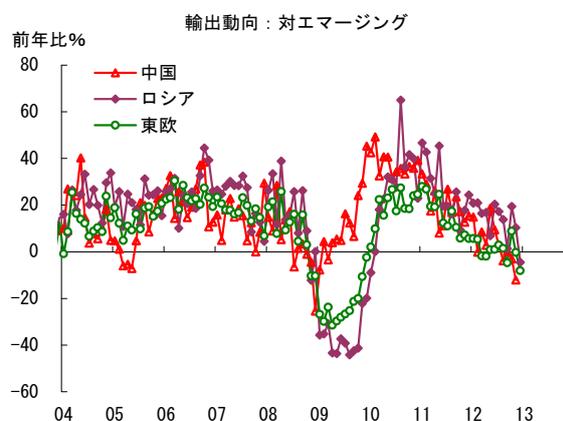
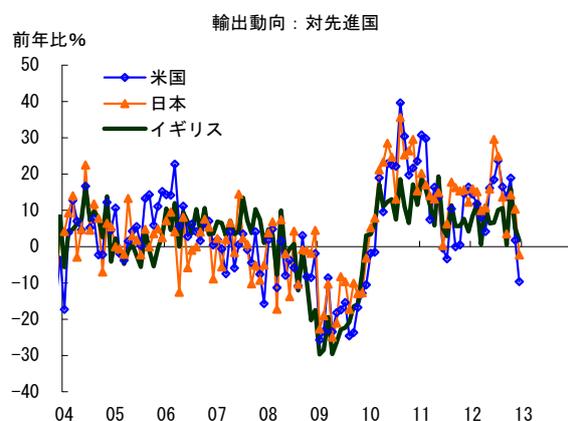
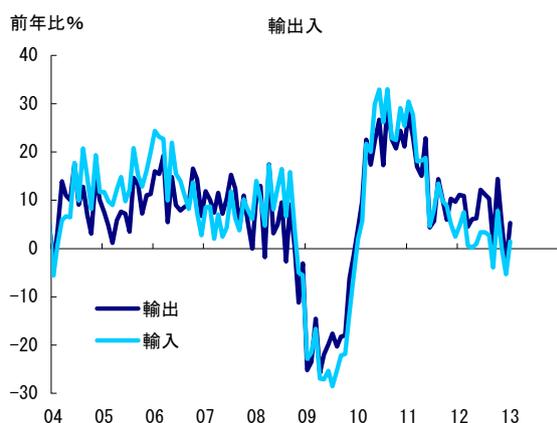
- 2月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+2.8%と1月より上昇。主要因は電気ガス料金の値上げ
- 2月の生産者物価上昇率は、販売価格は前年比+2.3%、仕入価格は同+2.5%。仕入れ価格の上昇要因は、国内食品価格及び輸入材料の価格上昇によるもの
- 1月の輸入物価上昇率は前年比-1.0%だがマイナス幅は縮小傾向。2月のポンドの名目実効為替レートは前月比で大きく低下し、下落傾向が明確となった



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 国際収支

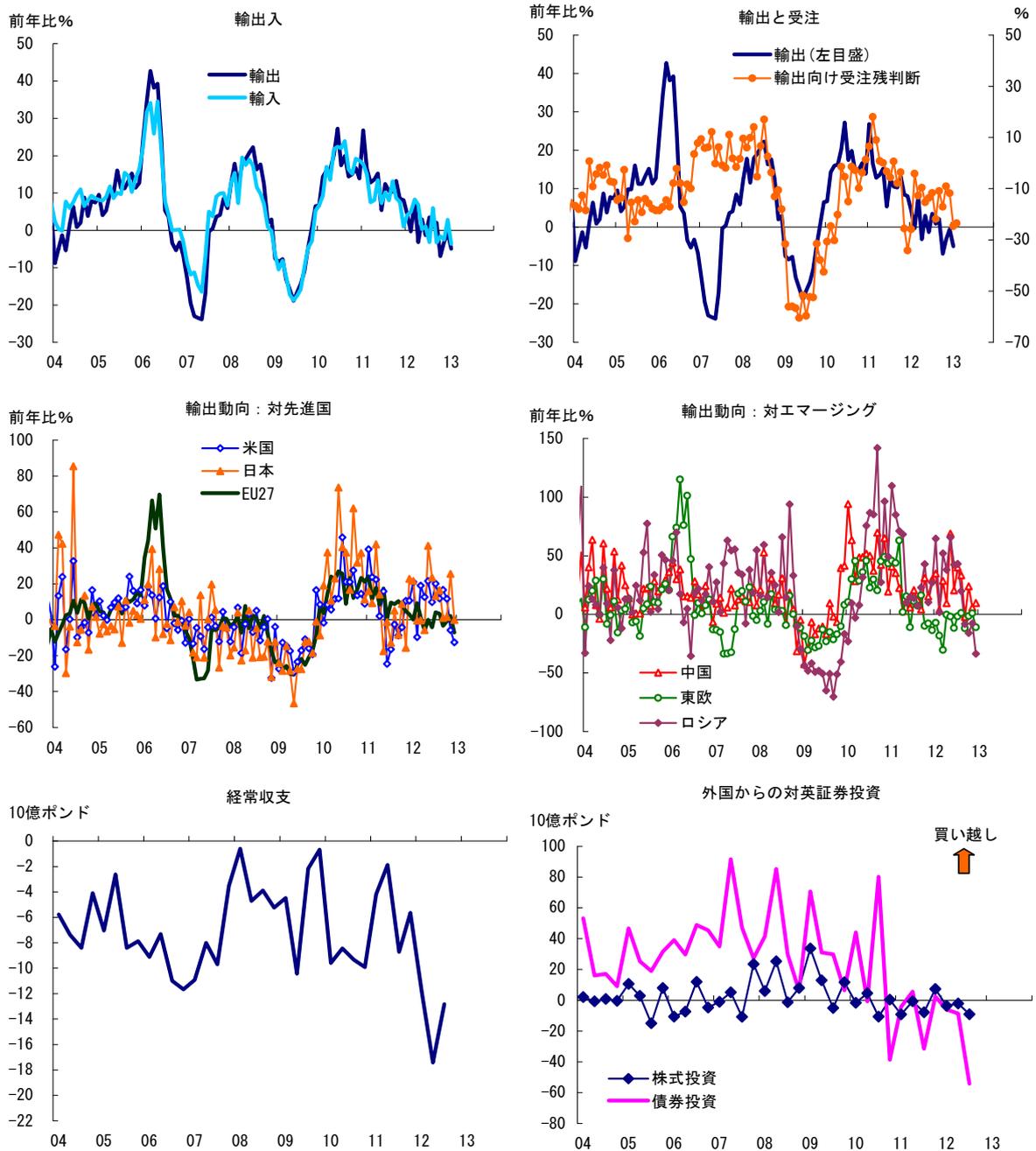
- 1月の輸出は前年比+5.3%、輸入は同+1.4%と共に前年割れから脱出。2月の輸出向け受注残判断は前月比改善
- 12月の国別輸出動向は、米国向けが前年比-9.7%、日本向けが同-2.3%となり、それぞれ11年9月、09年12月以来の前年割れとなった。エマージング向けもそろって前年割れ
- 1月の経常収支は45億ユーロの赤字。貿易収支が1年ぶりに赤字に転落したため。外国からの対ユーロ圏証券投資は5か月連続で株式・債券投資がそろって買い越し



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

英国 国際収支

- 1月の輸出は前年比-5.0%、輸入は同-3.6%と前年割れに転じた。輸入減少は、石油輸入が前年比で大幅な減少に転じたため
- 2月の輸出向け受注残判断は前月比でわずかに回復するも、低水準
- 12月の国別輸出動向は、対先進国では米国向けが減少幅拡大、日本向けが前年比割れに転落。対エマージングではロシア向けが減少幅を大幅に拡大させた



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成